

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	地域生涯学習推進補助事業		基本目標	学習の成果が活かせる機会の充実		
担当課(局)・係	社会教育課	生涯学習係	記入者	三笠 浩三	評価者	三嶋 俊宏
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体										
	意図・目的	特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体の活動支援										
事業の内容	特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進する団体への補助金交付											
主な支出項目	22年度決算額	120	千円	23年度予算額	120	千円	事業従事者数	H22	人	H23	人	
	補助金	120	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	0			千円	
			千円	県支出金		千円	23年度人件費	0			千円	
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0	%		
			千円	一般財源	120	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名	地域生涯学習推進事業補助金							
	補助交付団体			蚊口次郎ま踊り保存会・ひとつぎ会			補助金要綱	社会教育関係補助金交付規程				
	22年度	補助額	120,000	円	補助の形態	臨時的補助	23年度補助額	120,000	円	終期		年度
		団体の決算額	194,077	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
		補助の割合	61.8	%								
繰越額		51,106	円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1	蚊口次郎ま踊り保存会・ひとつぎ会 活動支援	文化活動団体の育成及び活動の活性化
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1	補助金の交付	
	2		
	3		

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	蚊口次郎ま踊り保存会・ひとつぎ会 活動支援	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	補助金の交付	目標値	回	1	1	1
		実績値	回	1	1	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	地域生涯学習推進補助事業	担当課(局)	社会教育課
-------	--------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1	-
合計(最高18点)		16	-

※町補助をしている場合のみ記入

公平性 (公益性)	特定団体への補助ではあるが、町主催の催事等へ積極的に参加していることや、伝統芸能の継承、民俗・民謡無形文化財の指定を目的としていることを考慮すると町の財産として公益性が高い活動といえる。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-	
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	コスト			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町として特色ある自治公民館づくりやまちづくりを推進するためにも必要な補助で、補助金交付団体もこの補助金を有効に使って特色ある活動を行っている。			○	

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎生涯学習の推進という観点からも事業の継続は必要である。 ◎今後の補助制度の方向性を検討するべきである。 ◎文化伝承活動として、その後の活動状況の把握が必要である。 ◎ある面では、今年度より開始した「たかなべ未来づくり事業」(提案型予算)と重なる部分もあるようで、今後、統合も含め調整など必要である。 ◎補助終了後の事業の継続がされているのか。 ◎ある程度行き渡っているようなので、自ら手を上げるような団体がなければ廃止を考えるべきである。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	